

# 学校法人シモゾノ学園

## 大宮国際動物専門学校基本情報

### 1 はじめに

共に生き、共に学ぶ ー生き物を愛する想いー  
学校法人シモゾノ学園理事長 下菌恵子

### 2 学園の概要

- ① 学園の誕生
- ② 教育理念
- ③ 教育方針

### 3 大宮国際動物専門学校の概要

- ① 学校のあゆみ
- ② 学校の所在地
- ③ 姉妹校の所在地

### 4 学科の概要

- ① 各学科の概要
- ② 各学科の育成人材像
- ③ 各学科の取得可能な資格
- ④ 各学科の卒業後の進路

### 5 キャリア教育について

### 6 教育活動

### 7 学生概況

- ① 学納金
- ② 入学者数
- ③ 退学率
- ④ 進級及び卒業評価判定基準
- ⑤ 教育環境
- ⑥ 就職率
- ⑦ 学生の生活支援、修学支援

## 8 教職員数

## 9 学園の財務状況

- ① 資金収支計算書
- ② 貸借対照表



学校法人 シモソノ学園

大宮国際動物専門学校

Omiya International Animal Health & Management College

## 1 はじめに

共に生き、共に学ぶ ー生き物を愛する想いー

学校法人シモゾノ学園は、1956年創業の青山ケンネルに起源をもつ動物系職業人養成の専修学校であり、東京都世田谷区に「国際動物専門学校」、埼玉県さいたま市に「大宮国際動物専門学校」の2校を開校、総学生数920名の全てが動物系のプロフェッショナルを目指し、動物に関する深い知識と高い技術の修得に励んでいます。

愛玩動物から家族の一員へと、人間との関係性が変化した伴侶動物の代表である犬・猫を中心に、エキゾチックアニマルまでと幅広い生き物が対象の動物系職業は、「心の時代」となった今、そしてこれからに期待される職業であります。

「心を大切に、感謝の気持ちで自然を思い、人と動物の真の共存共生」を教育理念に掲げ、3本の教育方針「専門性の追求」「道徳性・人間性の育成」「動物福祉の実践」を立て、全教職員が一丸となって後ろ姿で見本手本を示し、日本の将来を担うべく“生き抜くチカラ”を備えた学生たちが、立派な動物のプロフェッショナルとなるよう支援しております。

都会の中心で学ぶ環境がシモゾノ学園の大きな利点です。それは最先端の情報を俊敏に取組み教育に活かすことができるからです。

社会の変化に伴い職業教育やキャリア教育の整備・充実が叫ばれる中、成長分野である動物業界において期待される人材育成を果たし、動物業界のみならず日本経済の発展にまで寄与できる人財を輩出する教育の取り組みを責務と考えております。

今後も更なる教育の質の向上を追求し、全教職員が一丸となって教育理念を目指し取り組んで参る所存でございます。

今後とも、一層のご指導ご支援のほど宜しくお願い申し上げます。

平成28年4月

学校法人 シモゾノ学園  
理事長 下菌 恵子

## 2 学園の概要

### ① 学園の誕生

シモゾノ学園の歴史は、1956年に犬のお店「青山ケンネル」を開業したことに始まる。当時の欧米において、すでに一般的であった犬や動物との生活文化を日本でも普及させることを目的とし、以来60年の歴史を歩む。

人と動物との関係は時代を経るにつれて変化し続け、愛玩動物（ペット）から伴侶動物（パートナー）へと変容を遂げた今日、私たち人間の生活の中で、動物との関係は切り離せないものとなっている。

動物との生活が密接になるにつれ、人間社会で生きる動物の環境を整え、発展させていくことが求められるようになり、動物に関わる専門家=プロフェッショナルの育成がその一助となるべく、1984年、トリマーのための学校「青山ケンネルカレッジ」を開校、1997年には学校法人シモゾノ学園「国際動物専門学校」、2002年には「大宮国際動物専門学校」を開校し、動物職業人の育成に取り組む。

### ② 教育理念

心を大切に、感謝の気持ちで自然を思い、人と動物の真の共存共生

### ③ 教育方針

#### ◆専門性の追求

動物を取り巻く環境をしっかりと理解し、動物業界で求められる知識・技術を追求し、戦力となる人材（財）を育成します。

#### ◆道徳性・人間性の育成

感謝の心を失わず、挨拶をはじめコミュニケーション能力の高い、品格の備わった人材（財）を育成します。

#### ◆動物福祉の実践

動物の生命及び尊厳を守る精神を養い、自然・環境・動物との共存共生を実践し、広く社会に貢献できる人材（財）を育成します。

### 3 大宮国際動物専門学校概要

#### ① 学校のあゆみ

- 1956年 港区青山に高級犬販売と日本初の犬のホテルを併設した青山ケンネルを開店
- 1984年4月 青山ケンネルカレッジ東京校開校
- 1997年4月 学校法人シモゾノ学園国際動物専門学校東京都の認可を受け開校  
理事長／下菌龍二 就任  
学校長／後藤直彰 就任
- 1999年3月 日本小動物獣医師会・認定動物看護師の受験資格認定校となる  
日本愛玩動物協会・愛玩動物飼養管理士資格認定校となる
- 2002年4月 学校法人シモゾノ学園大宮国際動物専門学校埼玉県の認可を受け開校  
学校長／下菌龍二 就任
- 2003年4月 大宮国際動物専門学校学科新設
- 2004年4月 国際動物専門学校学科新設
- 2005年4月 国際動物専門学校  
学校長／本好茂一 就任  
大宮国際動物専門学校  
学校長／菅野茂 就任
- 2005年5月 学校法人シモゾノ学園  
第二代理事長／下菌恵子 就任
- 2009年4月 国際動物専門学校  
学校長／下菌恵子 就任  
国際動物専門学校学科新設  
動物看護・理学療法学科
- 2010年4月 国際動物専門学校学科新設
- 2012年4月 大宮国際動物専門学校  
学校長／下菌智一 就任  
大宮国際動物専門学校学科新設

2014年3月

職業実践専門課程認定

国際動物専門学校 動物看護・理学療法学科

国際動物専門学校 動物看護・栄養学科

国際動物専門学校 美容・デザイン学科

国際動物専門学校 自然環境・動物飼育学科

国際動物専門学校 しつけ・トレーニング学科

大宮国際動物専門学校 国際海洋・飼育学科

大宮国際動物専門学校 Dog トレーナー学科

2015年2月

職業実践専門課程

大宮国際動物専門学校 動物看護・栄養学科

大宮国際動物専門学校 美容・デザイン学科

2016年3月

さいたま市と動物愛護に係る事業協力に関する協定を  
締結

## ② 学校の所在地

大宮国際動物専門学校 1号館

〒330-0854 埼玉県さいたま市大宮区桜木町2-289-2

TEL 048(648)8400 FAX 048(648)8402

大宮国際動物専門学校 2号館

〒330-0854 埼玉県さいたま市大宮区桜木町2-170

TEL 048(649)8230 FAX 048(649)8232

大宮国際動物専門学校 3号館

〒330-0854 埼玉県さいたま市大宮区桜木町4-192

TEL 048(649)7556 FAX 048(648)8444

## ③ 姉妹校の所在地

国際動物専門学校本館

〒154-0011 東京都世田谷区上馬4-3-2

TEL 03(5430)4400 FAX 03(5430)4448

国際動物専門学校 1号館

〒154-0011 東京都世田谷区上馬4-3-2

TEL 03(3418)2091 FAX 03(3418)3393

国際動物専門学校 2号館

〒154-0014 東京都世田谷区新町2-1-5

TEL 03(5486)4411 FAX 03(5486)4414

国際動物専門学校 3号館

〒158-0081 東京都世田谷区深沢8-11-13

TEL 03(5706)2201 FAX 03(5706)2203

## 4 学科の概要

### 動物看護・栄養学科

#### ① 学科の概要

豊富な動物看護実習により、動物病院での基本的な看護技術と各種検査技術を習得、栄養の基礎やペットフードの基礎知識なども身につけます。動物病院でのインターンシップを経て、オペの準備から術後管理など獣医療機関や動物病院で即戦力となれる実践的動物看護師を目指す。

#### ② 学科の育成人材像

「動物の健やかな生活支援及び動物医療において生産性を高める動物看護師」を育成する

- ◆動物が健やかな生活を送ることを支援できる
- ◆動物医療において生産性をあげることに貢献できる
- ◆物おじせずコミュニケーションが取れ、プレゼンテーションができる
- ◆社会人としての品格（法律・道徳・マナー）を表現できる
- ◆アニマルウェルフェア（動物福祉）を正しく理解し実践できる
- ◆自らの行動を通して動物福祉を周辺の人たちに啓蒙できる

#### ③ 学科の取得可能な資格

NPO 法人日本動物福祉職能協会認定資格

- ・動物栄養管理士3級、2級
- ・メディカルグルーマー
- ・アニマルメディカルテクニシャン

動物看護師統一認定機構認定資格

- ・動物看護師統一認定資格

(公社) 日本愛玩動物協会認定資格

- ・愛玩動物飼養管理士2級、1級

日本ペット栄養学会認定資格

- ・日本ペット栄養管理士

PADI 認定資格

- ・スクーバダイビング

#### ④ 卒業後の進路

動物病院、ペットショップ、ペット美容室、実験動物施設、ペットシッター、ブリーダー、ペットフード関連企業、ペット保険会社



## 美容・デザイン学科

### ① 学科の概要

犬に負担のないグルーミング・トリミング技術を理解し、様々な犬種に合わせて個性を引き出せるカット技術を習得、最新の美容ペットエステやカラーリング技術などのファッションデザイン、また、人とペットとの快適な暮らしが提案できるライフデザインなども学び、ペットショップやペットサロンなどでのインターンシップ実習を通して実践的美容トリマーを目指す。

### ② 学科の育成人材像

「動物に負担無く、生産性の高いグルーミング・トリミングができる」  
トリマーを育成する

- ◆動物に負担無く、生産性の高いグルーミング・トリミングができる
- ◆物おじせずコミュニケーションが取れ、プレゼンテーションができる
- ◆社会人としての品格（法律・道徳・マナー）を表現できる
- ◆アニマルウェルフェア（動物福祉）を正しく理解し実践できる
- ◆自らの行動を通して動物福祉を周辺の人たちに啓蒙できる

### ③ 学科の取得可能な資格

NPO 法人日本動物福祉職能協会認定資格

- ・トリマー3級、2級 \*ジェントル・トリマーの称号付与
- ・ドッググルーマー
- ・キャットスペシャリスト3級、2級
- ・しつけアドバイザー3級
- ・ケーンインライフプランナー3級、2級

PEIA 認定資格

- ・ペットエステティシャン ブロンズ・シルバー

(公社) 日本愛玩動物協会認定資格

- ・愛玩動物飼養管理士2級、1級

日本ペット栄養学会認定資格

- ・日本ペット栄養管理士

PADI 認定資格

- ・スクーバダイビング

### ④ 卒業後の進路

ペットショップ、ペット美容室、動物病院、ドッグカフェ・ネコカフェ、ペットシッター、ブリーダー、ペットの保育園・幼稚園

## 国際海洋・飼育学科

### ① 学科の概要

魚類、両生類、爬虫類、鳥類、哺乳類などのすべての動物に対する飼育管理や健康管理などの基礎知識を習得、動物園や水族館、牧場などで行う豊富なインターンシップ実習において、実際現場での仕事を体験し、自然環境や動物の野生、動物の飼育について総合的に習得した実践的動物飼育員を目指す。

### ② 学科の育成人材像

「動物が生息している本来の自然環境を理解し、各種の動物に適した飼育・管理をすることができる人材」を育成する

- ◆動物が生息している本来の自然環境を理解し、各種の動物に適した飼育・管理をすることができる
- ◆物おじせずコミュニケーションが取れ、プレゼンテーションができる
- ◆社会人としての品格（法律・道徳・マナー）を表現できる
- ◆アニマルウェルフェア（動物福祉）を正しく理解し実践できる
- ◆自らの行動を通して動物福祉を周辺の人たちに啓蒙できる

### ③ 学科の取得可能な資格

NPO 法人日本動物福祉職能協会認定資格

- ・動物飼育管理士3級、2級
- ・アクアリウムコーディネーター3級、2級
- ・キャットスペシャリスト3級
- ・アニマルメディカルテクニシャン

(公社) 日本愛玩動物協会認定資格

- ・愛玩動物飼養管理士2級、1級

日本ペット栄養学会認定資格

- ・日本ペット栄養管理士

PADI 認定資格

- ・スクーバダイビング

NACS-J 認定資格

- ・自然観察指導員

財団法人安全衛生協会認定

- ・潜水土

(一財) 自然環境研究センター認定資格

- ・生物分類技能検定4級、3級

樹木・環境ネットワーク協会認定

- ・グリーンセイバー・ベイシック

### ④ 卒業後の進路

動物園、サファリパーク、水族館、牧場、実験動物施設、乗馬クラブ、総合ペットショップ、各種動物の専門ショップ、動物病院

## Dog トレーナー学科

### ① 学科の概要

担当犬制度を通して、犬との接し方、基礎的なトレーニング技術を習得し、段階的なマナートレーニングやトレーニング学、ドッグスポーツ学、ドッグライフマネージメントなどにより、トレーニング技術や一般家庭における「しつけ」技術を習得した実践的ドッグトレーナーを目指す。

### ② 学科の育成人材像

「ヒトとイヌの適切な共生関係を築くことを目指したしつけやトレーニングができる人材」を育成する

- ◆ヒトとイヌとの適切な共生関係を築くことを目指したしつけやトレーニングができる
- ◆物おじせずコミュニケーションが取れ、プレゼンテーションができる
- ◆社会人としての品格（法律・道徳・マナー）を表現できる
- ◆アニマルウェルフェア（動物福祉）を正しく理解し実践できる
- ◆自らの行動を通して動物福祉を周辺の人たちに啓蒙できる

### ③ 学科の取得可能な資格

NPO 法人日本動物福祉職能協会認定資格

- ・ドッグトレーナー3級、2級
- ・しつけアドバイザー3級、2級
- ・トリマー3級
- ・ドッググルーマー
- ・キャットスペシャリスト3級

(公社) 日本愛玩動物協会認定資格

- ・愛玩動物飼養管理士2級、1級

日本ペット栄養学会認定資格

- ・日本ペット栄養管理士

PADI 認定資格

- ・スクーバダイビング

### ④ 卒業後の進路

訓練所、トレーニング施設、しつけ教室、ペットの保育園・幼稚園、ドッグカフェ、ペットシッター、ブリーダー、ペットショップ、ペット美容室、動物病院

## 5 キャリア教育について

- ・インターンシッププログラムの実施  
動物関連の企業実習を通して、プロの現場を体験し、実践力を養っている
- ・「人間力」育成プログラムの実施  
就業力養成講座において「7つの習慣 J」を通して、コミュニケーション力を身につけ、自ら考え、人に伝わる力を養っている。
- ・「社会人力」養成プログラムの実施  
キャリア支援を実施、職場や地域など社会で活躍するための社会人力を養っている。

## 6 教育活動

- ・総合臨床実習 <動物看護・栄養学科>
- ・インターンシップ実習 <美容・デザイン学科、国際海洋・飼育学科>
- ・日本臨床医学フォーラム年次大会 <動物看護・栄養学科>
- ・牧場研修旅行 <動物看護・栄養学科>
- ・日本動物高度医療センター見学 <動物看護・栄養学科>
- ・ペットフード工場見学 <動物看護・栄養学科>
- ・ドッグショー見学 <動物看護・栄養学科、美容・デザイン学科、Dog トレーナー学科>
- ・ハイパーマーケット オリピック ユアペティアしつけ教室 Hatty 実習 (Dog トレーナー学科)
- ・キャットショー見学 <美容・デザイン学科>
- ・PET - SPA 研修 <美容・デザイン学科>
- ・アクアスティ研修 <国際海洋・飼育学科>
- ・ファームスティ研修 <国際海洋・飼育学科>
- ・観音崎実習 <国際海洋・飼育学科>
- ・葛西干潟実習 <国際海洋・飼育学科>
- ・動物園比較研修 <国際海洋・飼育学科>
- ・水族園比較研修 <国際海洋・飼育学科>
- ・大宮公園小動物園実習 <国際海洋・飼育学科>
- ・訓練施設研修 <美容・デザイン学科、Dog トレーナー学科>
- ・トレーニング合宿 <Dog トレーナー学科>
- ・新入生オリエンテーション研修 <1 学年全学科対象>
- ・国内研修旅行 <2 学年全学科対象>
- ・海外研修旅行 <全学科希望者>
  - アメリカ研修旅行
  - イギリス研修旅行
  - オーストラリア研修旅行
- ・北海道研修旅行 <全学科希望者>
- ・沖縄研修旅行 <全学科希望者>

## 7 学生概況

### ① 学納金

1年次学納金	動物看護・栄養学科	美容・デザイン学科	国際海洋・飼育学科	Dog トレーナー学科
入 学 金	180,000 円	180,000 円	180,000 円	180,000 円
授 業 料	500,000 円	500,000 円	500,000 円	500,000 円
実 習 費	170,000 円	170,000 円	170,000 円	170,000 円
施 設 費	190,000 円	190,000 円	190,000 円	190,000 円
維 持 費	146,000 円	146,000 円	146,000 円	146,000 円
研 究 費	84,000 円	84,000 円	84,000 円	84,000 円
合 計	1,270,000 円	1,270,000 円	1,270,000 円	1,270,000 円

2年次学納金	動物看護・栄養学科	美容・デザイン学科	国際海洋・飼育学科	Dog トレーナー学科
授 業 料	500,000 円	500,000 円	500,000 円	500,000 円
実 習 費	214,000 円	214,000 円	214,000 円	214,000 円
施 設 費	190,000 円	190,000 円	190,000 円	190,000 円
維 持 費	146,000 円	146,000 円	146,000 円	146,000 円
研 究 費	100,000 円	100,000 円	100,000 円	100,000 円
合 計	1,150,000 円	1,150,000 円	1,150,000 円	1,150,000 円

### ② 入学者数

	2014 年度	2015 年度	2016 年度
動物看護・栄養学科	87 名	74 名	84 名
美容・デザイン学科	75 名	87 名	62 名
国際海洋・飼育学科	49 名	45 名	44 名
D o g トレーナー学科	43 名	46 名	44 名
合 計	254 名	252 名	234 名

### ③ 退学率

	2013 年度			2014 年度			2015 年度		
	在籍者数	退学者数	退学率	在籍者数	退学者数	退学率	在籍者数	退学者数	退学率
動物看護・栄養学科	164名	12名	7.3%	162名	4名	2.5%	159名	14名	8.8%
美容・デザイン学科	163名	7名	4.3%	159名	6名	3.8%	159名	7名	4.4%
国際海洋・飼育学科	92名	9名	9.8%	88名	4名	4.5%	90名	3名	3.3%
Dog トレーナー学科	85名	3名	3.5%	86名	6名	7.0%	83名	2名	2.4%
合 計	504名	31名	6.2%	495名	20名	4.0%	491名	26名	5.3%

### ④ 進級及び卒業評価判定基準

- ・試験は前期試験、後期試験とする（進級・卒業対象試験）
- ・学科目は100点満点で評価し、70点以上を以って合格とする
- ・1年次実技科目は100点満点で評価し、70点以上を以って合格とする
- ・2年次実技科目は100点満点で評価し、60点以上を以って合格とする
- ・授業時数全体の80%以上の出席を以って受験資格とする

### ⑤ 教育環境

校舎	構造	校地面積	校舎延床面積
大宮国際動物専門学校 1号館	鉄筋コンクリート造	392.50 m <sup>2</sup>	1477.47 m <sup>2</sup>
大宮国際動物専門学校 2号館	鉄筋コンクリート造	278.24 m <sup>2</sup>	889.51 m <sup>2</sup>
大宮国際動物専門学校 3号館	鉄筋コンクリート造	495.00 m <sup>2</sup>	937.30 m <sup>2</sup>
合 計		1165.74 m <sup>2</sup>	3304.28 m <sup>2</sup>

### ⑥ 就職率

	2013年度				2014年度				2015年度			
	卒業生数	就職希望者数	就職者数	就職率	卒業生数	就職希望者数	就職者数	就職率	卒業生数	就職希望者数	就職者数	就職率
動物看護・栄養学科	76名	74名	61名	82%	73名	69名	69名	100%	80名	76名	76名	100%
美容・デザイン学科	72名	69名	68名	99%	81名	78名	78名	100%	69名	65名	65名	100%
国際海洋・飼育学科	44名	44名	44名	100%	39名	39名	37名	95%	45名	45名	44名	98%
Dogトレーナー学科	39名	35名	31名	89%	43名	41名	39名	95%	37名	36名	35名	97%
合 計	231名	222名	204名	92%	236名	227名	223名	98%	231名	222名	220名	99%

※就職率＝就職者数／就職希望者数

## ⑦ 学生の生活支援、修学支援

生活支援

- ◆担任制
- ◆スクールカウンセラー

学費サポート制度

- ◆シモヅノ学園特待生制度
- ◆下菌龍二記念奨学金制度
- ◆家族入学支援制度
- ◆学費分納制度

公的奨学金制度

- ◆日本学生支援機構奨学金

教育ローン制度

- ◆日本政策金融公庫
- ◆民間教育ローン

## 8 教職員数

	専任	兼任	合計
動物看護・栄養学科	9名	10名	19名
美容・デザイン学科	11名	8名	19名
国際海洋・飼育学科	3名	8名	11名
Dogトレーナー学科	5名	7名	12名

平成28年5月1日現在



## 9 学園の財務状況

### ① 資金収支計算書

平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日

(単位 千円)

収入の部		支出の部	
区 分	金 額	区 分	金 額
学生生徒納付金収入	1, 117, 108	人件費支出	639, 907
手数料収入	17, 726	教育研究経費支出	151, 680
補助金収入	2, 199	管理経費支出	203, 973
資産売却収入	0	施設関係支出	44, 963
資産運用収入	543	設備関係支出	36, 131
事業収入	10, 794	借入金等利息支出	4, 963
雑収入	2, 400	借入金等返済支出	30, 000
借入金収入	0	資産運用支出	3, 342
前受金収入	513, 129	その他の支出	457, 329
その他の収入	503, 755	資金支出調整勘定	△36, 040
資金収入調整勘定	△529, 304	次年度繰越支払資金	1, 923, 834
前年度繰越支払資金	1, 821, 732		
収入の部合計	3, 460, 082	支出の部合計	3, 460, 082

## ① 貸借対照表

(平成 28 年 3 月 31 日現在)

(単位 千円)

資産の部		負債・基本金及び消費収支差額の部	
科目	金額	科目	金額
固定資産	3,420,740	固定負債	339,100
有形固定資産	3,404,230	長期借入金	235,000
土地	1,714,489	引当金等	79,812
建物	1,564,589	その他	24,288
構築物	11,491	流動負債	1,233,408
その他	113,661	前受金	513,130
その他の固定資産	16,510	その他	688,422
流動資産	2,668,023		
資産の部合計	6,088,763	負債の部合計	1,572,508
		基本金の部	
		第1号基本金	4,125,840
		第4号基本金	83,934
		基本金の部合計	4,209,774
		消費収支差額の部	
		翌年度繰越消費収入超過額	306,481
		消費収支差額の合計	306,481
		負債の部 基本金の部 消費収支差額の部合計	6,088,763